

## 保護者も体験 プログラミング!



りく ゆうき  
(斉藤理侏くんと母の侑紀さん)

参加した保護者の斉藤侑紀さんは、「これからは（ICTは）必須だと実感しました。親も学ばなければと思います。今、スマホなどは娯楽のために使うイメージがありますが、今後はプログラミング学習アプリなどにも取り組んでみたいですね」と話しました。

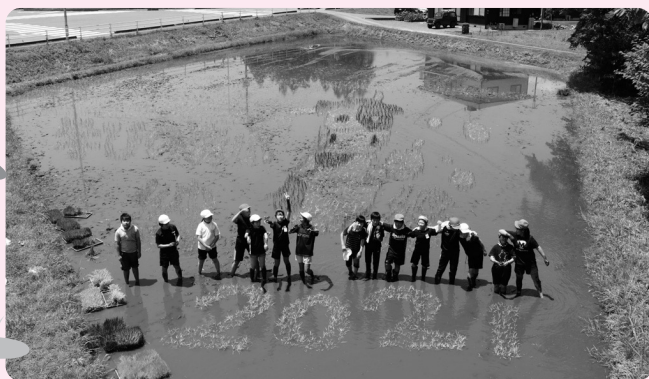


千振保育園で6月10日、年長児11人と保護者がプログラミングを体験しました。平成30年度に2つの保育園で試行し、令和元年度から全保育園で実施しているこども未来課の事業で、今年度は保護者にも参加を呼びかけ実施しています。

園児と保護者は、タブレット端末を使い、画面に表示されたお弁当箱に、ごはんやおかずを詰めて「お弁当」を完成させるなどして指使いを練習したあと、「Viscuit（ビスケット）」というビジュアルプログラミング言語を使い、自分で描いた魚などの絵を、「メガネ」と名付けられた仕組みで動かすプログラミングを体験しました。



お弁当、上手にできたよ！（相馬真海くんと父の照清さん）



**米作りの大変さと楽しさを実感**

6月10日、学びの森小学校で田植え体験（田んぼアート）が行われました。参加した5・6年生は、地域教育コーディネーターや地域の方々に教えてもらいながら、泥まみれになって元気いっぱい田植えを楽しみました。

植えた苗は、田植えアートになっており、大島地区のゆるキャラ「しまたん」をモチーフに、子ども達がデザインを考えました。見頃は8月中旬で、収穫は9月末〜10月上旬ごろを予定しています。